

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【公開番号】特開 2005-223439 (P2005-223439A)  
 【公開日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-032  
 【出願番号】特願 2004-27051 (P2004-27051)  
 【国際特許分類】

**H 0 3 H 11/04 (2006.01)**

【F I】

H 0 3 H 11/04 G

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 9 月 26 日 (2006.9.26)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

複数の O T A と容量からなり制御信号に応じて少なくとも一つの前記 O T A のトランスコンダクタンスを変化させることによって入力基準周波数信号の位相を変化させる位相手段と、前記基準周波数信号と前記位相手段の出力信号との位相比較結果の信号を出力する位相比較手段と、前記位相比較結果の信号から交流成分を除去して前記制御信号として出力する低域濾波手段とを備え、前記位相比較手段の両入力の位相差が所定位相量のときロック状態となるフェーズロックドループを形成し、前記制御信号に比例した信号によって、被制御 g m - C フィルタを構成する少なくとも一つの O T A のトランスコンダクタンスを変化させて前記被制御 g m - C フィルタの周波数特性を設定することを特徴とする周波数設定回路。

【請求項 2】

前記位相手段が、2 段カスケード接続された 1 次のフィルタからなることを特徴とする請求項 1 記載の周波数設定回路。

【請求項 3】

前記 2 段カスケード接続された 1 次のフィルタに終端抵抗が付加されていることを特徴とする請求項 2 記載の周波数設定回路。

【請求項 4】

前記位相手段が、入力抵抗を付加した 2 次のフィルタからなることを特徴とする請求項 1 記載の周波数設定回路。

【請求項 5】

前記 2 次のフィルタが、2 次の高域濾波器であることを特徴とする請求項 4 記載の周波数設定回路。

【請求項 6】

前記 2 次のフィルタが、2 次の帯域通過濾波器であることを特徴とする請求項 4 記載の周波数設定回路。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 4  
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、請求項2記載の発明は、請求項1記載の周波数設定回路に係り、上記位相手段が、2段カスケード接続された1次のフィルタからなることを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、請求項3記載の発明は、請求項2記載の周波数設定回路に係り、上記2段カスケード接続された1次のフィルタに終端抵抗が付加されていることを特徴としている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、請求項4記載の発明は、請求項1記載の周波数設定回路に係り、上記位相手段が、入力抵抗を付加した2次のフィルタからなることを特徴としている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、請求項5記載の発明は、請求項4記載の周波数設定回路に係り、上記2次のフィルタが、2次の高域濾波器であることを特徴としている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、請求項6記載の発明は、請求項4記載の周波数設定回路に係り、上記2次のフィルタが、2次の帯域通過濾波器であることを特徴としている。